

煙火消費計画書

1 消費の方法

(1) 消費順序の大要

煙火の種類 (単発、早打、仕掛の別を記載すること。)	打揚煙火の大きさ別の数量 (仕掛には裏打の打揚煙火数を大きさ別に記載すること。水中煙火についても同じ。)	消費時間	消費従事代表者

(2) 点火・打ち込みの方法

煙火の種類	該当方法を○で囲むこと			
単 発	筒口からの落とし火による	導火線による	速火線による	電気点火
早 打	筒口からの落とし火による	焼き金による	速火線による	電気点火
裏 打	筒口からの落とし火による	導火線による	速火線による	電気点火
特 殊 仕 掛 (水 中 煙 火 、 金 魚 等)	陸上に固定した筒から打ち込む			
	導火線に点火後、船又は岸から水面に投げ込む			
	水中に立てた棒等に筒を固定し、速火線を利用して打ち込む			

2 消費する煙火の製造業者

名 称 (氏名)	所 在 地 (住所)

3 煙火消費作業の従事者

現 場	煙 火 消 費 作 業 従 事 者					
	責任者	氏 名	住 所	年 齢	経 験 年 数	免 許 証 等 の 種 類

備考 責任者の欄には、該当する者に○を記入すること。